

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

梅檀保育園と一中がリモート交流(11/4,5)

一中3年生の保育実習が昨年からコロナの影響で中止となっている事から、今年度はリモート交流という新たな形に挑戦しました。モニターに映る中学生の姿に、初めは不思議な表情の子どもたちでしたが、優しい言葉掛けに徐々に表情が和らぎ、中学生手作りの何種類ものお話や歌のペープサートを見せてもらい、子どもたちからは笑顔があふれていました。

またグループ交流会では、質問コーナー、クイズ、音手遊びなど、中学生のお話に耳を傾け、やりとりに夢中になっていました。

子どもたちの事を思い準備して下さった中学生の皆さん、たくさん喜ばせていただきました。ありがとうございました。(特別寄稿：梅檀保育園 西村孝太先生)



いま保育園・幼稚園との連携を

一中校区CSは一中・境小・上道小の3校の組織ですが、子どもたちの多くは校区内の保育園・幼稚園の出身です。園の歴史やカリキュラムは違っても、どこも一中校区の未来を支える子どもたちが育つ場です。なお一層、連携を深めていきたいと思ひます。「びざいフェスティバル」より



「あいさつ」を文化に！(12/24 上道小)

上道小では昨年7月の「見守りあいさつ大作戦」以降も全校であいさつ運動に取り組んできました。2学期終業式で内田綾子校長が話されたダイジェストです。

「児童会は運営委員会が2か月間、毎朝玄関前であいさつを続けました。2年生は廊下に「あいさつ大作戦」の掲示板を作りました。1年生は授業の初めと終わりによいあいさつをしています。学校できているあいさつを家でも地域でもしましょう。それが上道小校歌にある『境港の文化をつくる』ことです。」

「あいさつは文化」すてきな取り組みですね。



2年生の作った掲示板

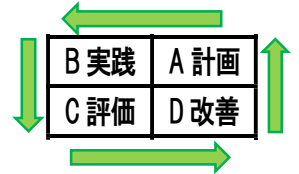


玄関前に立つ子どもたち

聖心幼稚園の「学校関係者評価」(11/18)

聖心幼稚園では今年度から学校関係者評価委員会を設置し、外部の声を生かした教育の充実を図っています。その第1回会議が昨年11月18日に行われました。

園では、学期ごとに「田の字法」(下図)と呼ばれる方法で計画・実施・振り返り・改善を進めています。また「開かれた幼稚園づくり」をめざして、学校間交流や連携、家庭・地域社会との連携、情報発信にも力を入れています。



しかし、コロナ禍で地域の行事に参加できないという悩みは大きいようです。保育園・幼稚園に対して地域がどんどん働きかけることが大切だと感じました。



「忍術修行」がテーマの年長組



家庭・地域と一緒に育てる力

とんどさんに地域を想う(1/6)

境中央・西の火入れを初めて見ました。竹が色鮮やかに飾られていて驚きました(筆者の地区は紙垂だけです)。昭和から平成にかけて、七夕や節分等の伝統行事を授業で行う流れがあり、学校は大変でした。地域の良き伝統を地域が守ることで、地域を愛する子どもたちが育ちます。



境西地区にて

CSアンケートにご協力ください！

一中校区CSのさらなる発展と充実をめざして、地域の皆様から広くご意見を伺いたと思います。公民館にアンケート用紙を置きますので、お出かけいただいた際にご協力ください。後日集約し、来年度の活動に生かすと共に、「おじゃまします」で紹介いたします。よろしくお願ひいたします。



よりよい一中校区づくりのために！

新たにご協力いただくことになった皆さん

○鳥取銀行境港支店

累計124カ所(2021.1.12 現在) ※敬称略・順不同